

鈴鹿 8 耐出場チーム「Honda No Limits」、Carstay 提供の 大型キャンピングカーでレースに完全集中できる環境構築

～ 最速約 300 キロ、距離計約 170 キロ（1 周 5.8 キロ）を連続走行する選手の休息拠点に ～

キャンピングカーと車中泊スポットのシェアリング・サービス、車両製造、改装支援など国内最大級のバンライフ※のプラットフォーム事業を展開するCarstay株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役：宮下晃樹）は、2025 年 8 月 1 日（金）～3 日（日）に鈴鹿サーキット（三重県鈴鹿市）で開催されたバイクのレース「2025 FIM 世界耐久選手権 “コカ・コーラ” 鈴鹿 8 時間耐久ロードレース 第 46 回大会（鈴鹿 8 耐）」参戦した鳥羽海渡選手が所属するチーム「Honda No Limits」に“動く休憩”や“動く宿泊”拠点として、大型キャンピングカー「L M C EXPLORER COMFORT I725G」を提供し、レースに完全集中できる環境を構築しました。

鈴鹿 8 耐の開催期間中は、例年、サーキット周辺の宿泊施設が早期に満室となり、宿泊料金も高騰します。さらに、レース終了後は宿泊施設までの移動に渋滞で 1 時間以上かかることも少なくありません。レース中と、移動時間の貴重な休息時間が奪われることの課題解消と、経費削減、レースに完全に集中できる環境構築を行うために、Carstay は“動く拠点”としてのキャンピングカーを提供し、選手のパフォーマンスの維持と向上、時間の有効活用をサポートする新たなソリューションを実現しました。

最高時速約 300 キロで、コース 1 周 5.8 キロを約 1 時間で約 25 周を走行する選手にとっては、体力的な休息だけでなく、精神面でも集中できる快適な“拠点”が必要となります。サーキット場内に“自分だけのプライベート空間”を確保できることは、レース期間中の心身状態を整え、安定したパフォーマンスを発揮するために重要な要素の一つとなります。特に、バイクレースのような極限状態の中で戦う競技では、一瞬の判断ミスが命取りになるため、身体だけでなく、精神面や心を休める場も必要となります。



周囲の喧騒や雑音から離れ、エアコンが効き、快適なソファやベッドなどが完備された静かな休憩環境は、次の走行への集中力を回復させるために不可欠です。食事や打ち合わせ、休憩・仮眠・宿泊の拠点としてキャンピングカーは大きな役割を果たしました。

今回、鈴鹿 8 耐直前の 7 月 29 日から 8 月 4 日までの 7 日間、Carstay が提供するキャンピングカーをサーキット・ピットボックス後に設置、通常レース後に約 1 時間かかる宿泊施設までの移動時間を“ゼロ”にするなど、完全にレースに集中できる環境を構築しました。



GLAMPINGCAR（アジアキャピタルマネジメント株式会社）が保有し、Carstay プラットフォーム上で動かせる高級ホテルとしてカーシェアするフィアット・デュカトがベース車両の「LMC EXPLORER COMFORT I725G」は、バス並みの大型車両で、酷暑の鈴鹿でも快適な休息・宿泊スペースとして、利用することができます。今回の鈴鹿 8 耐で、この規模の大型キャンピングカーを導入していたのは鳥羽選手のチームのみ。

設置だけでなく、撤収も迅速に行えるため、次の遠征や活動にもスムーズに対応可能です。

欧州のレース会場では、選手が大型キャンピングカーを“動く拠点”として利活用する文化が根付いていますが、日本ではキャンピングカーは旅行用途が中心。今回の取り組みは、鳥羽選手と Carstay が“新たなレース拠点のスタイル”として提案するもので、Carstay は、鳥羽選手の「欧州での参戦レースのように、最高の状態で挑むための環境を整えたい」という熱い想いに共感し、今回の支援を決定しました。

「モビリティを基盤とした新しいライフスタイル」の実現を目指すスタートアップとして、Carstay と鳥羽選手の“挑戦”が合致したプロジェクトとなりました。

今後も Carstay は、「鈴鹿 8 耐」をはじめとするモータースポーツイベントのみならず、各地で行われるスポーツ大会や野外イベント、災害支援現場に至るまで、“動く拠点”としてのキャンピングカーの新たな活用方法を提案し、社会課題の解決に貢献してまいります。

Carstay はキャンピングカーという動くことが“可” 能な“動産”「可動産」を活用し、旅行やレジャー用途だけに留まらず、ビジネス、医療、災害支援、スポーツシーンでの快適な環境提供を行うことで、暮らしや働き方の選択肢を増やし、モビリティ／移動性を軸に、場所に縛られない自由な暮らし方・働き方を実現する社会、新しいライフスタイルの基盤を築いていきます。



【Carstay が鳥羽選手に提供する LMC EXPLORER COMFORT I725G の外観と内装】

※バンライフ：車を通じた旅や暮らしにより“人生を豊かにする”ことを目的として、荷台スペースが広い車“バン”を家やオフィスのように作り変え、車を動く・遊ぶ・暮らしの拠点とする新たな“ライフ”スタイル。

【Carstay のキャンピングカーに関する問い合わせ先】

<https://carstay.jp/ja/contact/form/>

■ Carstay 株式会社について

Carstay 株式会社は「誰もが好きな時に、好きな場所で、好きな人と過ごせる世界をつくる」というミッションを掲げ、キャンピングカーのレンタル・カーシェアと車中泊スポットのスペース・シェアリングサービス、車両製造など、国内最大級の新しい旅と暮らしのライフスタイル「バンライフ」事業を展開する「マース モビリティ アス ア サービス MaaS (Mobility as a Service)」のスタートアップ企業です。2019 年 1 月に車中泊スポットのスペースシェア、2020 年 6 月にキャンピングカー、2024 年 12 月にテントの貸出しが可能なアウトドアカーのカーシェア・サービス「カーステイ Carstay」を開始。全国各地に車中泊スポットは約 300 箇所、キャンピングカーとアウトドア車両のカーシェアの登録車両は約 500 台です。2022 年 10 月には、車をキャンピングカー仕様に改造するための DIY スペース、キャンピングカーの製造・改造・修理などを手掛ける「モビラボ Mobi Lab.」事業も開始しました。（<https://carstay.jp/>）

【報道関係からのお問い合わせ先】

Carstay 株式会社 広報担当

中川 生馬（なかがわ いくま）

・電話：080-4476-1106

・E-mail：i.nakagawa@carstay.jp